



丸小だより

～ 実践目標 自分が輝く、みんなも輝く ～

横浜市立丸山台小学校 学校だより

No. 7

令和3年11月30日(火)

2021

校長 倉本 恵

令和3年 2021年は皆さんにとって、どんな1年でしたでしょうか？

11月後半になると、メジャーリーグで大谷選手がMVPを獲得したことが、大きく報道されました。その時のコメントの中に、「コロナで暗いアメリカに偉大な明るさをもたらした」や「苦難の年に海の向こうから、元気をくれた」という内容のものがありません。

私にとってのMVPは・・・それは、もちろん、子どもたち全員！子どもたちの活動が生き生きしていることが学校・家庭・地域を明るくする原動力であることを、このコロナ禍で改めて実感しました。

そして、その子どもたちの家庭生活を支えてくださっている保護者の皆様、見守ってくださっている地域の皆様、学校生活を支えている全職員も、MVPに値します。

運動会に代わり、10月に行われた「丸リンピック 2021 (に ぜろ に いち)」。実行委員の子どもたちは「東京オリンピック 2020 (に ぜろ に ぜろ)」の読み方をとりいれて、ネーミングを決めました。

食の学びの発表の場として12月17、18日に行われる「丸小フェスタ」の今年度のテーマは「自分もみんなもきらきらフェスタ2021 (に まる に いち)」。この読み方には、丸山台小の目標「自分が輝く みんなも輝く」に向かい、丸(まる)小フェスタの「まる」を意識したネーミングなので、「0」を「ぜろ」ではなく「まる」と読むことに、という実行委員の子どもたちの思いがあります。同じ「2021」でも、それぞれにきちんと理由のある思いをのせることのできる子どもたちの育ちが、とてもうれしいです。

(残念ながら、丸小フェスタも参観は保護者のみで、地域の方々に広くご覧いただくことができませんが、次の学校だよりでは、その様子が少しでも伝わるようにしたいと思います。)

11月25日には、令和4年度の1年生と保護者の方が初めて本校に集まる、「就学時健康診断」が行われました。

約60名のこの子どもたちが入学する来年度は、マスクを外した学校生活が戻り、運動会や丸小フェスタで子どもたちの輝く姿を、多くの方々にご覧いただけるようになることを願わずにはられません



2021年締めくくりの12月には、人権週間があります。

丸山台中学校ブロック横浜子ども会議での話し合いをもとに、本校では運営委員会児童が中心となり、言われた人も言った人も心が温かくなる「ふわふわ言葉」を集める活動に全校で取り組んでいきます。

このコロナ禍だからこそ、よりお互いを思いあえる気持ちが育っていくよう、保護者や地域の皆様も、「ふわふわ言葉」を気に留めていただけると幸いです。

みんなが温かい気持ちで、2021年の年末を過ごせますように。